

事 務 連 絡
令和 5 年 4 月 11 日

各都道府県・市区町村 介護人材確保対策担当課（室）御中

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室

『専門性を活かして在留資格「介護」で働く外国人介護職員活躍事例集』
の活用・周知について（依頼）

平素より、厚生労働行政の推進につき、厚く御礼を申し上げます。

さて、専門的・技術的な分野に対する外国人を受け入れることを目的としている在留資格「介護」については、平成 29 年 9 月の制度開始以降、令和 4 年 6 月時点で、在留資格者数は 5,339 名であり、年々増加傾向にあります。また、令和 2 年 4 月より「実務経験ルート」が追加され、実務経験を経て資格取得した者も在留資格「介護」への移行対象となったことから、今後さらに増加が見込まれます。

在留資格「介護」の方々は、介護福祉士国家資格の有資格者として、介護現場における外国人介護職員の中核としての活躍が期待され、中には管理職や後輩の育成に携わる者もいることから、より一層の活躍支援に向けた方策を検討していくことを目的に、厚生労働省令和 4 年度社会福祉推進事業において、在留資格「介護」で就労する外国人介護職員及び施設・事業所にアンケートやヒアリングを実施し、就労の実態把握を図ったところです。

このことで、当該事業でヒアリングした 10 名の外国人介護職員の活躍状況や外国人介護職員・施設・事業所へのアンケートで得られた内容をもとに、別添の『専門性を活かして在留資格「介護」で働く外国人介護職員活躍事例集』を作成しましたので、関係施設・事業者等に情報提供する等、必要に応じて周知のほどよろしく申し上げます。

記

（別添書類）

厚生労働省令和 4 年度社会福祉推進事業

「在留資格「介護」の実態把握及び活躍支援に向けた調査研究事業報告書」

（令和 5 年 3 月 公益社団法人 日本介護福祉士会作成）

(事例集作成の目的)

- 異国の地で専門性を持って働く外国人介護職員の来日から現在までの経緯と活躍状況を伝えることで、介護福祉士の専門性や魅力を発信するとともに、外国人介護職員の自身のキャリアプランの参考としていただく。
- 在留資格「介護」がもたらす効果や外国人介護職員が感じている課題について記載することで、施設・事業者等に対して外国人介護職員の活躍のための必要な支援等を発信し、更なる外国人介護職員の活躍支援を推進する。

(事例集の構成)

- 在留資格「介護」とは？
- 在留資格「介護」がもたらす効果
- 10名の在留資格「介護」の外国人介護職員の事例
 - ※ 養成施設ルートと実務経験ルートで分類
- 在留資格「介護」の方の課題
- 外国人介護職員が必要とするサポート（選ばれる施設になるために）
- 在留資格「介護」の外国人介護職員にも活用してほしいサポート

以上

(事務担当)

厚生労働省 社会・援護局
福祉基盤課 福祉人材確保対策室
外国人社会福祉士支援係 木下
TEL : 03-5253-1111 (内線 2844)